学校番号	3027

令和８年度　地歴公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	公共　新訂版　共につくる未来（実教出版）						
副教材等	高校社会へのステップ（東京書籍）、テーマ別資料　公共 2026（東京法令出版） 4 ステージ演習ノート（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・公共という科目では、倫理的分野・法的分野・政治的分野・経済的分野と幅広い分野に触れながら、社会を構成する制度と私たち個人の在り方について、その関係性などを学習していくことになります。
・学習を通して、個人の価値観を再考し、社会の諸制度や経済の動きを学び、理解を深めることで社会に貢献できる人材に必要な資質と能力を育みます。
・社会と個人は、意外な点で繋がっています。授業で学ぶ内容だけでなく、日頃の報道と学びを結びつけ、自らの思考を深めましょう。

2　学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動をとおして、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解し、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	公共の扉	個人の在り方や個人を取り巻く社会や文化、公共的な空間に関連する知識を整理し、先哲の思想や観点を通して自らの考えを深める。	a:個人の在り方の変遷や社会を構成する要因を理解している。 b:個人の在り方や社会について様々な意見があることを踏まえて自らの考えをまとめ、表現することができる。 c:哲学者の考えの根底にある概念や知識に対する理解をしようと努め、自分の考えを再考する。	考査 レポート	考査 ディスカッション	振り返りシート グループワーク 観察
	法的な主体	生活にまつわる身近な法、自由や平等の基礎となる法を学び、法の性質や派生する権利等を理解する。 特に契約については消費者の点から理解を深め、司法の役割を知る。 模擬裁判などを通して、物事に対するリーガルマインドを養う。	a:法そのものの理解や法のもつ効力について理解している。 b:社会で起こる事象に対して法的判断がどう下るのか関心を寄せ、考えることができる。 c:公共的な空間の大きな枠組みとなる法の体系に関心を寄せ、理解しようとする。	考査 レポート	考査 ディスカッション	振り返りシート 観察

2	政治的な主体	国会と立法の関係を把握し、国内の行政や国際社会でどのように政治が行われるのか理解する。 地方自治や国会での政策について学び、選挙の重要性を理解する。	a:国会と立法を中心に選挙や行政の在り方、国際社会での課題について理解している。 b:政治参加することで起きうる変化について関心を寄せ、世の中で政治がもたらす変化を議論することができる。 c:公民として全体の利害の調整や、公共的空間をより良いものにするための考察ができる。	考査 レポート	考査 ディスカッション	振り返りシート 観察
	経済的な主体	経済の基本的な用語や経済の原理について学び、現代の市場について考察することができる。また、この経済に対し、個人や政府はどのように関与しているのかを理解する。	a:経済の基本的な仕組みや原理について理解し、用語などの意味を理解している。 b:市場経済が現在どのように動いているのか関心を寄せ、我が国の経済発展について議論することができる。 c:個人が与える経済への影響を意欲的に考察できる。	考査 レポート	考査 ディスカッション	振り返りシート 観察
3	持続可能な社会づくり	国際社会の協調や平和・共存のために国際社会について学び、現代の諸問題や国際社会の課題について探究する。	a:今日の国際社会の組織や国際平和を築くための取り組み、現代の諸問題について学び、日本の取り組みを理解することができる。 b:持続可能な社会を目指す上で問題となる諸課題について考え、解決方法について議論することができる。 c:国際社会で多様な人々と共存するために、自分には何ができるのかを再考することができる。	考査 レポート	考査 ディスカッション	振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度